



# 竹松ものがたり

やさしく かしこく たくましく

令和5年5月31日  
大村市立竹松小学校  
発行 石司 貴弘



## よい学びは、道具をそろえることから

竹松小学校では、毎週火曜日の朝に「筆箱点検」を続けています。子ども達は、自分の筆箱の中身を出して、

☆必要なものがそろっているか

☆正しく使える状態になっているか

を確かめるのです。自信満々で並べる子、ちょっと不安そうな表情を浮かべる子…様々です。

この点検は、よい習慣づくりのために行っています。必要な物がそろっていると、学習がスムーズに（時間のロスなく）進められます。よい学びを経験した子どもは、道具の大切さを実感して、自分から進んで整えるようになります。この習慣は大人になってもとても大切なことです。家庭生活でも、仕事に就いてからも、必要な道具類を整えると生活が充実し、仕事も効率的に進む、周りの人にも喜んでもらえる（迷惑をかけない）など、良いことがたくさんあります。

子どものうちから、物事に取り組む前に持ち物を自分で整える、家族に協力してもらって足りないものをそろえるという経験をさせることで、将来に大いに役に立つ力が身に付きます。ご家族の皆様のご協力をいただければ幸いです。よろしくお願いします。

## みんなのために動く ～5・6年生による プール清掃～

来月から始まる水泳（水遊び）学習に備え、高学年のみなさんがプールを磨き上げています。約1年間水を入れたままのプールは、かなり汚れがたまっています。落ち葉や砂が入り込んだり、壁面にはコケも生えています。床面をデッキブラシでゴシゴシ磨きます。壁や段差などは小さいたわしで隅々までていねいにぬるぬる汚れを落とします。磨き続けていると、腕が疲れて力が入らなくなります。それでも、また磨き続けます。

高学年の子どもたちの姿は実に素晴らしいです。5・6年生のみなさんのおかげで、全校のお友達が安全に、楽しく学習ができるのです。誰かのため力を発揮できるって本当に立派です。一仕事をやり終えた子どもたちの清々しい笑顔がとてもさわやかで、頼もしく見えました。ありがとう！





## 命を守る学習 ～避難訓練～

学校では次のような力を身に付けさせるために、定期的に避難訓練を行います。

- ☆必要な情報を見取る・聞き取る・読み取る力
- ☆状況に応じて適切に判断する力
- ☆危険をすばやく回避する行動力

子どもたちは幼児教育施設等でも避難訓練を経験しており、慣れていますが、その「慣れ」が、「心の緩み」になってしまうと万一の際に重大な結果になりかねません。今回の訓練においても、残念ながら真剣さに欠ける子どもがいました。全体指導では、子どもたちに次の話をしました。

**よく聞く・よく見る**…放送や周りの人の話を聞ききましょう。周りの様子をよく見ましょう。見たり聞いたりすると、「何が起きているのか」「どうすればよいのか」がわかります。みんなの命を守るために、このことを大切にしましょう。

今回の訓練で嬉しく、そして心強く感じたことがあります。それは、6年生の姿です。静かに、しかもとてもすばやく避難し、運動場に整列してからも口を開く子がいません。緊急時にどのような動きをすればよいのか、身をもって手本を見せていました。さすがに竹松小のリーダーです。

## 命を守る学習 ～交通安全教室～

大村市交通安全協会の指導員にご来校いただき、「道路の正しい使い方」を考えました。

- ☆横断歩道の正しい渡り方
- ☆車道と歩道の区別がない道の歩き方
- ☆自転車の正しい利用の仕方

など、実際の場面を想定しながらわかりやすくお話をさせていただくとともに、体育館に模擬道路をつくって渡り方の実演練習もしました。

全国的なデータでは、小学生の交通事故が多くなるのは5月から6月なのだそう。新しい環境や通学路に慣れてきて、もしかしたら注意力が散漫になるのかもしれませんが。慣れてきたこの時期だからこそ、子どもたちに注意を促したいと思います。また、時折ノーヘルメットで自転車に乗っている小学生を見かけることがあります。学校と家庭、地域が知恵と力を合わせて子どもの命を守る取組を続けましょう。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

